

和歌山県西牟婁郡白浜町で 2011 年から 2013 年の 期間中に出現した淡水性アメンボ

A fresh-water strider appeared at Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan in the period between 2011 and 2013

久保田 信

淡水性のアメンボ *Aquarius paludam* が、和歌山県西牟婁郡白浜町の 3 ヲ所（瀬戸漁港・白浜町才野のタイドプール・鴨居漁港）で 2000 年から 2011 年までに海面を滑走したり、流れ藻上で休息する行動を記録した（久保田, 2004, 2006, 2008, 2009, 2011）。今回、初めて堅田漁港でそのようなアメンボに偶然に遭遇し、白浜町で 4 箇所目の淡水性のアメンボが海面上で見られた場所となった。それは、1 個体が 2013 年 3 月 24 日 17 時 5 分頃に、漁港に設置された一つの浮棧橋のロープにからまっている流れ藻（ホンダワラ類の一種でほとんどが海面下にある）の上を遊泳したり、そこやその付近で休んだりしており（図 1）、この行動の一部は動画撮影できた。

一方、定点調査を実施している瀬戸漁港においては、2013 年には 4 月 2 日に 1 個体（約 5 分後に飛び去る様子を動画撮影できた）、そして 5 月 29 日に 1 個体と遭遇した。また、ここでは、昨年の 2012 年では 7 月 12 日 1 個体の遭遇記録だけであった。さらに、一昨年の 2011 年では、前回報告の 6 月 10 日の 1 個体の特記（久保田, 2011）以外では、それより 3 日前の 6 月 7 日に 3 個体と遭遇した記録だけとなった。

日々、調査している瀬戸漁港でも 1 年間での遭遇は数回未満で、遭遇しない年さえあるが、上記の観察結果より、最近の 3 年間での白浜町の漁港で海面上をアメンボが遊泳するのは、3～7 月で、梅雨の時期を含む季節であるといえる。これまでの 2000 年から 2010 年までの期間中の記録をあわせても（久保田, 2004, 2006, 2008, 2009）、2001 年 10 月中旬の 1 回の遭遇を除き、すべてこの期間中であるのは注目される。



図 1 白浜町堅田漁港の海水面を滑走するアメンボ

引用文献

- 久保田 信. 2004. 海面を滑走するアメンボの記録. KINOKUNI, (65): 9-10.
久保田 信. 2006. 体液する「バンパイア」海面滑走する淡水性アメンボ. In 「宝の海から白浜で出会った生き物たち」. pp. 80-81, 図版, 25.
久保田 信. 2008. 海面を滑走するアメンボの追加記録. KINOKUNI, (73): 8-9.
久保田 信. 2009. 和歌山県西牟婁郡白浜町の鴨居漁港で海面を滑走した淡水性アメンボ. KINOKUNI, (76): 22.
久保田 信. 2011. 和歌山県西牟婁郡白浜町の瀬戸漁港において流れ藻で一時休息をした性アメンボとイトトンボの一種. KINOKUNI, (79): 16.

（くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）